

CJM REPORTER

カナディアン ジャパニーズ ミニストリー (CJM) 2010年春号



ついにCJMのウェブサイトがオンラインに！

www.jgct.com/cjm をご覧ください。

このサイトは日系福音主義クリスチャンの歴史的又文化的な情報を提供すると共に霊的な価値と経験を促進することを目的としています。



この春、復活祭を祝うにあたり、私たちの信仰の中心である、イエス様が死を打ち勝ち復活されたという事実を思い起こすことは、困難、愛する人の死やチャレンジに日々直面する私たちに力を与えてくれます。イエス様が死んでくださったから、私たちは今までの罪を帳消しにして新しいスタートを切ることが出来るのです。それだけではなく、イエス様はこれから来る挑戦にすでに勝利してくださったのです。ですから私たちは勝利を収めることを求められてはいません。なぜならもうすでにイエス様が勝利を取ってくださったからです。しかし、私たちには、神様の広く深い愛に誠実に応答することが求められています。神様は私たちを愛し、息子、娘として両手を広げて家族に迎え入れて下さっているのです。



ラベンダー・ブライアン牧師 (カルガリー日系福音教会 英語部牧師)

私たちが神の御国に迎え入れられるのは、私たちの善い業の結果ではなく、神様からの一方的な恵みによるものです。キリストの体である教会が、神様のこの驚くばかりの愛に動機付けられて、大胆に御言葉、神の愛、そしてキリストに従うものすべてに約束されている永遠の命について語っていくことが出来ますように。

グレースポイントが今行っていることのひとつに、「基本に戻る」ということがあります。日曜礼拝の中でクリスチャン信仰について、また神学についての基本的な学びを取り入れていっています。御言葉によって歩もうとするなら、御言葉を知らなければなりません。

いろいろな意味において、グレースポイントまたカルガリー福音教会全体は今年困難な時期を通過しています。谷口牧師が去られたのと時期を同じくして、数家族が去りました。しかし、この時にさえ、神様は私たちを洗練しイエス様の似姿へと、個人また教会が変えられるための機会として用いて下さっていると信じます。神様は引き続きチルドレンズミニストリーやユースミニストリーを祝福してくださり、子供や若い家族の多い私たちの教会の喜びとなっています。

ここ数ヶ月におよび、バイブルスタディーグループでは、「Purpose Driven Life」をテキストに行い、神が私たちを作られた目的、また私たちの生きる目的が明確にされ、大きな励みとなっています。そしてこれを土台にこの目的を実行していく者として、ますます私たちが学び、友人、隣人、親戚や仕事の同僚に届いて行くことが出来ることを願っています。*

サニーサイドファミリーキャンプ

2010年7月25日 - 31日

Sylvan Lake, (Red Deer, ABの16キロ西)

スピーカー：

デビッド・ウッド協力牧師
Coquitlam Alliance Church
Coquitlam, BC

高野昭牧師
米沢興譲教会 (山形県米沢市)

申し込み：

スー・キング 780-464-4152
ニコール・岩淵 780-416-8221
cjmcampregistration@hotmail.com

詳細：

デイビッド・タノ 403-830-1593
mdtano@gmain.com



北東日系
クリスチャン
コンファレンス

クリフヒルズリトリートセンター
Puslinch, ON (near Guelph, ON)

2010年7月31日 - 8月2日

スピーカー：

島田直師
サンロレンゾ日系キリスト教会
San Leandro, CA

申し込み/詳細

小笠原マリコ
電話：519-634-8935
mariko_ogasawara@hotmail.com

レスブリッジ日系クリスチャンフェローシップ

日曜礼拝：午後2時よりFirst Baptist Churchにて。1614-5th Ave. South, Lethbridge, AB
 牧師：秋山賢 電話：403-317-1987 Eメール：sakiyama@telus.net



秋山賢牧師 真理夫人
 創平君（10）有紗ちゃん（8）

秋山賢牧師（CJM宣教師）

わたしたちは、引き続いて、「目的先行型教会（Purpose Driven Church）」に基づき、土台のしっかりした教会作りを模索しています。「L J C Fに対して神様が持っている目的を主にたずね求める」を2010年度のテーマに、この教会の存在目的をはっきりとしていきたいと

いうのがわたしたちの思いです。それは箴言19章21節に「人の心には多くの計画がある。しかし、主のはかりごとだけが成る。」とあるように、わたしたちがいくら無我夢中で教会活動を展開しようと、神様の導きに従った働きでなければ、神様の意図されるバランスのとれた健全な教会成長にはつながらないと信じるからです。

ロン・ダークス牧師とリンダ夫人が毎月第2週と第4週にはるばるカルガリーからレスブリッジまで足を運び英語礼拝を導いてくださっていることは、本当に大きな祝福です。ロン牧師はわたしの霊的導き手であり、リンダ夫人は妻のマリと一緒に子どものミニストリーに取り組んでくださっています。英語部の礼拝はカナダ生まれの日系2世のメンバーを中心に行われています。彼らの信仰と救いのために祈ると共に、レスブリッジにいる国際結婚のカップルに届いていけるよう祈っています。

クリスマスはいつもアウトリーチのいい機会です。「良い知らせ」というテーマで、地元の日本人、日系人を招き、イエス様の誕生日をお祝いしました。教会のメンバーに加えて、地元のノンクリスチャン、おおよそ50人の大人と26人の子供たちが、参加して下さり、クリスマスメッセージの後、暖かく和やかな雰囲気をみなで楽しみました。ここに来て下さったノンクリスチャンの方々が、クリスマスの夜にベツレ



秋山ファミリーと坂本先生

へムで生まれた赤子と出会うことができますように。

神様が、この地域にすむ若い日本人の家族との関係を祝福してくださっていることに感謝です。19組の日本からの移民家族がインドアサッカー、クリスマス会、釣り、天ぷらデー、ジョイ・キッズ、ジュニア・ジョイ・キッズといった集まりに参加してくださっています。このうち3家族は日曜礼拝にも、毎週出席しています。妻のマリは、毎週「母の会」をやり、わたしも出来るときにはそのご主人たちと集まりを持つ



2010年 レスブリッジ イースター フェローシップ

ています。夕食をはさんで交わりのときを持ち、神様の愛について話せることは、嬉しいことです。地域にすむ日本人家族のためのミニストリーと、また短期で来ている日本からの留学生のためのミニストリーと、バランスを保ちながら続けて行きたいと思っています。

健康の面でいろいろなチャンレンジのある時でしたが、みなさんのお祈り、またドクターや役員の方々の助けにより、回復に向かっています。スケジュールを余裕を持ったものと改善し、ストレスを避け、リラックスやエクササイズの時間を持つように心がけています。7月と8月は教会が休みをくださったので、妻や子どもたちとの時間を楽しみたいと思っています。お祈りに感謝します。*

献金

秋山牧師ミニストリーのサポート、また一般会計への献金は、下記にお送り下さい。

Brenda Ohara-Peters
 669 Hillman Cres.,
 Mississauga, ON L4Y 2J1

Tel.: 905-949-4182
 Email: bjobjo@aol.com

ウエスリーチャペル日本語教会

2385 Warden Ave., Scarborough, ON M1W 2L6

日曜礼拝午前11時より

吉田エドワード牧師 電話：416-261-4302

初瀬川宗敏牧師（日本語部）



池田里美さんの証し

吉田エドワード牧師

池田里美さんは、ワーキングホリデーでカナダに来る前は、福岡で楽しいことを求めて過ごしていました。いろいろと自分で満足できる幸せを探していましたが、何も自分を満足させてくれそうなものはありませんでした。とても失望して、日本ではよく起こることで、自殺まで考えました。お父さんと一緒に住んでいる時、カトリック教徒のおじさんが信じている神様と信仰に感銘を受けました。そして、「いつかおじさんにキリスト教の神様について尋ねてみよう」と思っていました。おじさんが突然亡くなってしまったので、このチャンスが訪れることはありませんでした。しかし、さとみさんは確かに、このおじさんの穏やかな信仰と生き方に心を動かされていました。



池田里美さん

カナダのワーキングホリデービザをようやく手に入れた時、これが、おじさんの信じていた神様についてもっと知る素晴らしいチャンスになるようにと願いました。里美さんは、長くカナダ人の家庭に住んでいましたが、貯金が少なくなってきた頃、妊娠していた日本人指圧治療士の家庭で住み込みベビーシッターとしての仕事を見つけました。その女性は、カトリック教徒のご主人と結婚するまでは、キングスウェイ教会に通っていました。

里美さんが神様とキリスト教について興味があると話した

時、その女性の友達である山下さんご夫妻が通っているからということで、ウエスリーチャペルを紹介してくれました。このことで、神様は、日本語の教会を訪れるということだけでなく、山下さんご夫妻が教会へ車で乗せて行って下さるという機会をも与えて下さいました。

里美さんが2009年9月13日に初めてウエスリーチャペルに行った時、温かく紹介され、歓迎されました（ウエスリーチャペルは何年にも渡って、新しく来られた方たちに温かく親しみやすい教会との評判を得ています）。ほどなく、里美さんは、通常の礼拝後、新しいToshi副牧師が行っている聖書勉強会に加わり、いつもきっちり参加していました。2009年の12月には、自分の救い主としてイエス様を受け入れる準備ができていました。彼女の生い立ちや証しを分かち合った時、それは素晴らしい祝福と感動の時となり、教会のほとんどの人が涙していました。そして、2010年1月3日、新年最初の主日礼拝において、父、子、聖霊の御名によって洗礼を受けました。

2010年2月末に里美さんが日本に帰る際には、教会で按手式を行い、里美さんが単なる帰国者としてだけでなく、福岡の人々のための“新しい伝道者”として日本に帰るようにと祈りました。祈りの後には、素敵なケーキを用意して、お別れ会をしました。カナダ滞在中に、また一人の日本人がイエス様に出会うことができたことを神様に感謝します。これは、あらゆる立場の日本人がイエス様にたどり着くことができるようにというCJMの目標を実現しています。*

エドモントン日系キリスト教会

場所：Zion Baptist Community Church 電話：780-488-4168

9802—76th Ave. NW, Edmonton, AB T6E 1K5

日曜礼拝：午後2時より（バイリンガル）

www.telusplanet.net/public/ejpc



主イエス・キリストの御名によってエドモントン日系キリスト教会から挨拶を送ります。

神様は、私たち一人一人の人生に働きかけて下さり、私たちの教会の若い人々、また、英語部の人々を通して祝福して下さい。徐々に新しいリーダーシップへと移行しつつあります。とは言うものの、まだ牧師先生を必要としております。是非神様が私達に牧師先生を与えて下さるようにお祈り下さい。

この1月には、相田基兄の手配により、私たちは、Shaw Conference Centreで行われたBreakforth 2010に参加する機会が与えられました。著名なアン・グラハム・ロツツ師やフランク・ペレティ師などのスピーカーを通して、キリストを中心とする生き方をチャレンジされ、また、激励を受けました。賛美に満ちあふれた集会や情報豊富なワークショップの後、参加した私たちは、このBreakforthで神様が語って下さったことを分かち合いました。

2月は、当教会にとっては、宣教月間でした。2月19日～21日はMissions Festが行われ、何人もの兄姉が奉仕者として参加しました。このMissions Festの期間中は、教会外のク

リスチャンの人々と交わりがもてただけでなく、神様がこの国や他の国でどのような事をなさっているのかを垣間見ることができました。現在、当教会では、ベッキー・レンゲフェルド姉と中野ユリ姉が、すでに十分に宣教資金が備えられ、神様がこの宣教師達を用いて日本でどんなすばらしい事をして下さいるかを期待しております。ベッキーはすでに3月2日に発ち、続いてユリは4月21日に出発です。三重県津市で、North American Baptist Conferenceを通して働かれる姉妹達を祈りに覚えていて下さい。

当地におけるミニストリーとして、テラナス・ハウスで行われている水曜日の聖書研究会が、ESLの学生が教会につながるように、と行われております。12人程の参加者のほとんどが東南アジアの出身です。まず、夕食から始まり、アルファ・コースを用いてキリストを紹介しています。神様は、このような機会を用いて、多くの学生の心にふれて下さり、福音に対する霊的渴望を起こして下さいるようにと願っています。

皆さんの上に祝福がありますようにと祈ります。*

JAPANESE GOSPEL Church of Toronto

トロント日系福音教会

場所：301 Silver Star Blvd., Scarborough, ON M1V 0B6
 日曜礼拝：午前11時より(日本語/英語)
 教会電話番号:416-335-JGCT(5428) FAX: 416-335-5932
 佐藤明男牧師(日本語部) 416-495-1534
 戒崎レイ牧師(英語部) 905-597-5428
 上田ケビン牧師(ユース部) 647-298-6422
 Website: www.jgct.com



レイ・エビスザキ牧師

今年でこの教会での奉仕に召されてから丁度10年となります。遅ばせながら、JGCTの教会リズムにも慣れてきたところです。1月—3月は少しゆとりのある時期で、急ぎではないけれども、教会の重要な事項を話し合う時期となります。そして春と夏のミニストリーに向けて準備をしていくのもこの時期です。

「年があらたまり(ニサンの月、太陽暦の春)王たちが出陣するころ・・・(第2サムエル11:1)」と聖書にはあります。秋や冬とはリズムがかわりますが、忙しく駆けずり回る時期も、静かに過ごす時期も、神様に誠実に仕えていくことにおいて同等に大切な時期だと思っています。

レディーズクラフトイベント—レディーズリーダーのシャロン、フランシスを中心に11月21日に行われました。彼らのレポートよりの抜粋です。「93人のレディーズが参加し、そのうち31人は初参加の人たちでした。楽しい雰囲気の中で進められ、神の愛について語るすばらしいときを持ちました。初参加の人も含め、多くの参加者がこのイベントを喜んでくれました。」

ジョイ・オブ・クリスマス—11月28日に行われました。毎年行われるこのコンサートは、トロントの伝道目的のイベントでは最大のもので、今回は初めて福音教会を会場として行われました。370人ほどの参加者があり、神様に祝福されたときを持つことができました。



教会ナーセリー

教会ミニストリープラン

—1月から3月の間に教会で行われているミニストリーを見直し再検討する時が持たれました。JGCTは50年単立の教会として主に仕えてきましたが、教団に所属することも検討されている最中です。そしてより効果的に伝道していくためにはどうしたらよいのか検討する必要性も感じ、教会リーダーの修養会ではそこに焦点をあてて、祈りのうちに話し合っていく予定です。*

佐藤明男牧師

トロント日系福音教会は、今年創立50周年を迎えます。4月にはトロントの日本国総領事館の桜プロジェクトの一環として、30本の桜の若木(6フィート)が寄贈されることになっていきます。桜の木は、日本のシンボルです。とてもすばらしい神の贈り物で、心に残る50周年記念になります。後代の教会員がこの桜を見る時、神が導いてくださった教会の歴史に思いをきつと馳せることでしょうか。

新会堂が完成して1年半になります。3月21日には、新会堂初の洗礼式が行われ、日本語部から1人の姉妹、英語部から1人の姉妹と1人の若者の計3人が受洗されました。日本語部の姉妹は、前々から新会堂での受洗を希望されていましたが、洗礼槽をやっと購入することができ、希望がかなえられました。3人の兄姉は公に信仰を告白され、記念すべき初の洗礼式の受洗者となりました。教会員にとっても大きな喜びでした。



洗礼を受けた西脇さん

日本語部としては大きな変化はありませんが、すべてが神の御手の中にあり、祝福のうちに導いてくださっています。

日本語部では、現在6つのスモールグループが活動しています。4月からは7つ目のスモールグループが、ミシサガで始まります。このスモールグループを通して、信仰の成長とお互いのよき関係作りを、主の臨在の中でめざしています。

各スモールグループでの交わり以外に、日本語部全体の交わりも必要だということで、先日「食事と賛美のひと時」の会が、礼拝後に持たれました。手作りカレーを食べてから、みなで賛美をするひと時が持たれ、とても祝された時となりました。ぜひまたしてほしいという意見が多く寄せられています。

主は本当にすばらしいお方です。主イエスがこの世に再び来られる時まで、主の御心を探り、主に仕えていきたいと願っています。

神のなさることは、すべて時にかなつて美しい。
 (伝道者3:11、新改訳)*



広々とした教会堂ロビー(トロント日系福音教会)

メノナイト日本語キリスト集会

場所：St. Helen's Anglican Church
10787-128th St., Surrey, BC V3T 3A2
日曜礼拝：午後2時より
ジェラルド・ニューフェルド牧師
電話：604-596-7928 Eメール：grneufeld5@yahoo.ca



ニューフェルド理恵&ジェラルド

でどうなる事かと思われた事も乗り越え、自家用車に分譲してまた違った恵みを感謝したイベントでした。

メノナイト日本語キリスト教会は今年、開拓10周年をお祝い致します。日本宣教をリタイアされたアンナ・ディック師によって始まった家庭集会在前身ですがその後、吉行孝彦、麻理前牧師夫妻に、また2年前の2008年よりニューフェルド・ジェラルド牧師、理恵夫人によって牧会が受け継がれ現在に至ります。

ユースのアウトリーチでは、教会に全く行った事が無いという留学生やワーホリの方々へ福音を、と2人の大学生を中心に食事と音楽、クラフトを楽しみながら牧師によるショートメッセージを伝える、「クロスロック」という活動を行いました。お好み焼き、団子、カレー、たこ焼きなど和風のメニューがとても好評で、月2回行われたこの会にたくさんの方が参加されました。

私共の教会はメノナイト・チャーチ・カナダ・BC州の教会会議に連なり、イエスの平和の福音、弟子としての信仰の成長、クリスチャン共同体として愛をもって仕え合う教会をめざしています。

小さな集会ですが、子供達がたくさん与えられており、パイリンガルで年齢別にどのように福音を伝えていくのか悩みます。奉仕者が与えられるように祈っているところです。

去年の活動からいくつかをご紹介します。秋には恒例となったHopeにあるキャンプスクエアでのリトリートが行われ、紅葉の美しい山に囲まれ、賛美と交わりの豊かな一日を過ごしました。一昨年はバスをチャーターして行ったのですが、今回は予算の都合

続けてバンクーバーはサレー地区における日本人伝道のため、祈りつつ、主にあるCJMの皆さまと共に働いて行きたいと願っています。*

バンクーバー日系福音教会

425-11th St., New Westminster, BC V3M 4G1
日曜礼拝一午前11時より(日本語/英語)
福迫徹也牧師(日本語部) 604-517-4578 vjgc@telus.net
Website: japanesegospelchurch.com



「前に向かって」

福迫徹也牧師

私たちの今年の教会のテーマは「キリストにある交わりと私たちの交わり」です。

今年は、キリストのからだとして、主イエスキリストと私たちのお互いの交わりを更に深くし、強くし、広げて行きたいと願っております。いくつかの具体的な目標としては、スモールグループが受け皿になることによって新来者と求道者が増し加えられること、スモールグループのリーダー、教会スタッフ、役員が更に霊的に成長し、整えられて、教会を導いていくこと、120人の礼拝出席者、50人の祈り会出席者、10人の洗礼者が与えられること、などです。また、近い将来のビジョンとしては、複数礼拝を行い200名以上の出席者が与えられること、日本語のプリスクール、若いカップルのミニストリー、シニアのケアのグループを組織化していくこと、JTJと協力し教会主体の聖書学校を開始し教会学校教師やクリスチャンのために継続的な聖書の学びをしていくこと、などです。

私たちの教会のメンバーは主に日本人や日本語を話す人たちですが、最近、礼拝に日本人以外の人々も増えてきていることを感謝しています。また、教会には幼い子供たちから、若者、青年、壮年、シニアまでの各世代の人々が与えられていて、私たちが神様によって集められた神の家族であることを体験できていることです。私たちの多くは祖国を離れ、家族や友人から離れて生活していますが、ここに神の家族が与えられており、神の家族のメンバーとしての祝福を分かち合うことが出来ています。私たちの社会や環境は常に変化の中にあります。教会の中も同じように変化があります。しかし、私たちは前に向かって進んでおり、主はこの群れに救われる人々、成長する人々、そして、新しい人々を

加え続けてくださっています。

昨年以來、神様は私たちの祈りに答えてくださり、2人の新しい教会スタッフ(奉仕神学生)、ダウンタウンのミッションセンターから救われる人々、2010年4月に第2回韓国ミッショントリップ、17名の教会学校の教師、IYGの大きな成長、ティーズグループの開始と2名の救い、などを成して下さいました。神様が成された大きなみわざをほめたたえます。私たちは現在もパートタイムのチルドレン・ユースパスターを求めています。主が私たちの必要を全てご存知であり、ふさわしい働き人を与えてくださると信じております。私たちが主に信頼し続け、主の働きに奉仕し続けるときに、主はこの群れを通して神の国を建て上げ、広げてくださると信じています。

神様は私たちの祈りに答えてくださり、豊かな報いを与えてくださる方です。

CJMの諸教会の皆様のことを覚えて祈っております。私たちのこともお祈りください。主にありて。



教会サンデースクール

サマーキャンプについて

8月27日(金)から29日(土)
キャンプ・ルーサー(ミッション、BC)
キャンプ講師：中野雄一郎師(日本語)、黒田摂師(英語)*